

校長室だより 第二十四号

せおと

岡崎市立常磐小学校
令和三年一月八日



謹賀新年

いきいきわくわくほっこりと過ごす一年を

「牛」と言う文字は、見た通り牛の頭の部分を正面から見た形を表しています。これを「象形文字」と言います。なんだか人が両手を挙げて喜んでいような形です。また「丑」という漢字も象形文字で



す。左側に出ている部分は、指先の爪を表したもので、指先を曲げ爪をあらわにして強く物をとることを表しています。おっとりとしたイメージの牛が、大昔の人たちとどのように接していたのか疑問がわきます。さらに「丑」には「手でつまむ、むすぶ、ひねって曲げる、柔らかい」などの意味があります。「鈕・紐・狙」あまり使わない文字ですが、興味のある人は辞書を引いたり検索したりしてみてください。調べていたら、こんな漢字を見つけました。『犇』なんと読むでしょうか。みんなからの回答を待っています。今年もどうぞよろしくお願いモウし上げます。

まとめと準備の三学期スタート

朝、ドレミファ階段の下でみんなの登校を待っていると、習字道具やお道具箱やら少し多めの用具を抱えたみんなが歩いてきました。二学期末に会えなかった子たちの顔も見えます。「みんなちがったところで、みんながんばっている」ということを感じた始業式の日でした。

昨年度のスタート時は、この大切な三学期の最後の一月が無くなってしまおうとは思っていませんでした。やり残した学習内容を今年度に入ってから行ってきました。令和二年度の学習は今年度のうちにきちんと終わっていきたくて考えています。



始業式の中でインタビューした二年 Mさん、四年 Yさん、六年 Rさんは、今年の目標を「漢字をがんばりたい」「計算の勉強が楽しみ」「算数の勉強をがんばる」と、学習への意欲を語ってくれました。すばらしい気持ちだと思います。

現在コロナウイルスの感染状況は、決して油断できるものではありません。コロナを冷静に正しく恐れ、みんなで力を合わせて、思いを実現できるようにいきましょう。

一月二日に滝山寺と東照宮をお参りに行ったよ。滝山寺の奥の日吉山王社を見てびっくり。きれい！丁寧になべられた。けら板が柔らかな曲線を描く屋根。光が当たると箱棟の部分が輝いて見える。思わず手を合わせた。そこで一句

こけら葺きの屋根美しき初詣

